

附属明細書

1 文化事業

(1) 市民会館文化事業

No.	事 業 名
1	全日本おかあさんコーラス愛知県大会 ※
2	愛知県合唱祭
3	愛知県合唱コンクール
4	NHK全国学校音楽コンクール ○愛知県コンクール ○東海北陸ブロックコンクール
5	セントラル愛知交響楽団共催事業 ○公開講座、公開リハーサル ○名曲コンサート
6	【愛知県芸術劇場協働事業】ファミリープログラム『海外作品』 ※
7	響け！！未来の音楽家 ○バンドクリニック編 ○個人クリニック編
8	稲沢の音楽家シリーズ ○石田正プロデュース公演 ○石原まりあプロデュース公演 ※ ○伊藤真理子プロデュース公演
9	A N E Tあそび塾
10	音楽家の集い
11	エレクトーンフェスティバル
12	名古屋文理大学制作公演 ※
13	ワンコインコンサートスペシャル音楽三昧 ～ベートーヴェン編～
14	避難訓練コンサート
15	アウトリーチ事業
16	こどもの芸術鑑賞支援事業
17	スギテツファミリーコンサート 鉄道物語 in 稲沢
18	稲沢市民寄席 ○柳家さん喬・喬太郎親子会 ○桂まん我独演会 ○桂宮治独演会
19	よしもと新喜劇&バラエティショー
20	誘致事業
21	友の会

※太字の事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

ア 会館象徴事業 4事業

No.1 全日本おかあさんコーラス愛知県大会	
日 程	5月2日(日)
会 場	大ホール
入 場 料	一般500円、小中高生300円
結 果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

No.2 愛知県合唱祭		
日 程	6月12日(土)	
会 場	大ホール	
入 場 料	一般500円、小中高生300円	
収 支	収 益	0円
	費 用	143,150円
	差引額	▲143,150円
結 果	緊急事態宣言の期間内であることを考慮し、2日間全館利用の合唱祭を、大ホールのみ創立60周年記念創作ワークショップのみとし、無観客で実施しました。	

No.3 愛知県合唱コンクール		
日 程	8月7日(土)・8日(日)	
会 場	全館	
入 場 料	一般700円、小中高生500円	
収 支	収 益	0円
	費 用	497,310円
	差引額	▲497,310円
結 果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客で実施し、無料ライブ配信で公開することにより、多くの方へコンクールの様子を届けました。	

No. 4 NHK全国学校音楽コンクール		
No. 4-1 愛知県コンクール		
日 程	9月11日(土)・12日(日)	
会 場	大ホール	
入 場 料	無料	
No. 4-2 東海北陸ブロックコンクール		
日 程	10月2日(土)・3日(日)	
会 場	大ホール	
入 場 料	無料	
収 支	収 益	0 円
	費 用	582,742 円
	差引額	▲ 582,742 円
結 果	<p>愛知県コンクールは、緊急事態宣言の期間内ではありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底し、無観客で実施しました。</p> <p>東海北陸ブロックコンクールは、緊急事態宣言が解除された直後でもあり、出演者も来館しない音源審査とし、無観客で実施しました。</p>	

イ 協働事業 2事業

No. 5 センtral愛知交響楽団共催事業	
No. 5-1 公開講座、公開リハーサル	
日 程	5月12日(水) 6月8日(火) 7月14日(水) 9月16日(木) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 11月17日(水) 12月9日(木)
会 場	公開講座 : 小ホール 公開リハーサル : 大ホール (12月9日は中ホール)
入 場 料	無料
入場者数	公開講座 : 179人 公開リハーサル : 279人 合計 458人
収 支	収 益 0円
	費 用 998,898円
	差引額 ▲ 998,898円
結 果	変化し続けるコロナ禍の影響に対し、催事運営の経験を積み重ねることができました。公開企画の意義を高めるため、今後も楽団と協議を進めていきます。
No. 5-2 名曲コンサート「オーケストラが奏でる新春の贈り物」	
日 程	1月30日(日)
会 場	大ホール
入 場 料	1,500円
入場者数	447人
収 支	収 益 0円
	費 用 366,070円
	差引額 ▲ 366,070円
結 果	低価格で本格的なフルオーケストラによる演奏会を開催しましたが、集客は収容人数の半数に及びませんでした。コロナ禍の影響もあったと思われませんが、集客増に繋がる工夫を検討します。 なお、入場料収入は全額共催相手の収入とし、出演料等は共催相手の費用としたため、収益はありませんが、費用は低額に抑えることができました。

No.6 【愛知県芸術劇場協働事業】ファミリープログラム『海外作品』	
日 程	8月18日(水)
会 場	中ホール
入 場 料	大人1,000円—小学生以下500円
結 果	新型コロナウイルス感染拡大により、出演者の来日が困難となったため中止しました。

ウ 育成事業 3事業

No.7 響け!! 未来の音楽家	
No.7-1 バンドクリニック編	
日 程	5月8日(土)
会 場	コンテスト、講習会：大ホール、小ホール 模範演奏会：中ホール
参加費	10,000円(中学校1校当たり)
入場料	1,000円(模範演奏会の一般観覧者(保護者等)のみ有料)
入場者数	講習会参加 5校 模範演奏会 学生279人、一般45人、合計324人
収 支	収 益 72,450円
	費 用 1,427,910円
	差引額 ▲1,355,460円
結 果	講習会への参加が5校に留まり、コロナ禍による部活動の停滞が大きな原因と捉えています。 吹奏楽に関わる青少年の育成をコンセプトに掲げた事業として、状況に合わせたアイデアを盛り込み、事業を進めていきます。 なお、公演制作の委託先との契約により、入場料収入を委託先と折半としたため、入場者数に比べて収益は低額となっています。
No.7-2 個人クリニック編 「特別演奏会」	
日 程	11月13日(土)
会 場	大ホール
参加費	500円
参加者数	130人
収 支	収 益 65,000円
	費 用 473,187円
	差引額 ▲408,187円
結 果	新型コロナウイルスの感染対策として、西尾張吹奏楽連盟との協議により、個別の楽器講習会ではなく鑑賞型の講習会とし、「演奏の魅力」を再認識していただくことを目的に実施しました。

No. 8 稲沢の音楽家シリーズ		
No. 8-1 石田正プロデュース公演「エキサイティング バロック 5」		
日 程	6月19日(土)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	201人	
収 支	収 益	206,000円
	費 用	669,920円
	差引額	▲ 463,920円
結 果	石田正氏がバロック音楽に焦点をあてた演奏会シリーズで、今回で5回目(5年)となり、内容、集客共に手応えを感じていますが、シリーズとしては5年を区切りとし、企画を終了します。	
No. 8-2 石原まりあプロデュース公演 「VIVA OPERA in INAZAWA」		
日 程	8月28日(土)	
会 場	中ホール	
入 場 料	前売1,500円、当日1,800円	
収 支	収 益	0円
	費 用	452,080円(準備経費)
	差引額	▲ 452,080円
結 果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しましたが、制作作業やリハーサルを実施しているため、相当額の準備経費が必要となりました。	
No. 8-3 伊藤真理子プロデュース公演 「郷土の音楽家による演奏会 vol. 7」		
日 程	11月20日(土)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	66人	
収 支	収 益	68,600円
	費 用	358,361円
	差引額	▲ 289,761円
結 果	伊藤真理子氏がクラシックの名曲を「詩」の世界から捉える演奏会として実施しました。明確なコンセプトを掲げることにより特徴のある公演を創造することができましたが、集客に結び付きませんでした。	

No.9 ANETあそび塾 「創作オペラ かさじぞう」	
日 程	8月17日(火)
会 場	大ホール
参加費	1,000円
参加者数	参加者38人、発表公演入場者67人
収 支	収 益 38,000円
	費 用 452,426円
	差引額 ▲414,426円
結 果	ANETあそび塾の体験機会は、他の企画では実現することができない優れた構成になっています。ただし参加人数が限られることや必要な施設規模が大きいことが課題であり工夫が必要です。

エ 連携事業 4事業

No.10 音楽家の集い		
No. 10-1 vol. 84 後藤浩二クインテッド「スペシャルジャズライブ」		
日 程	5月13日(木)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	78人	
No. 10-2 vol. 85 峰岸桂子&ルイス・サルトル「ラテンの魅力」		
日 程	6月27日(日)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	120人	
No. 10-3 vol. 86 ゲオルギ・シャシコフ「ファゴットリサイタル」		
日 程	7月16日(金)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	95人	
No. 10-4 vol. 87 古井麻美子&五島史誉「favorite!」		
日 程	8月21日(土)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	90人	
No. 10-5 vol. 88 福田紗永ほか「コンサート ア・ラ・カルト in 稲沢」		
日 程	11月6日(土)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	90人	
No. 10-6 vol. 89 工藤雄司ほか「クラリネット&ピアノデュオコンサート」		
日 程	12月15日(木)	
会 場	中ホール	
入 場 料	1,000円	
入場者数	40人	
収 支	収 益	30,830円
	費 用	604,927円
	差引額	▲ 574,097円

No.10 音楽家の集い	
結 果	<p>コロナ禍の影響による様々な制限に対応しながらも、全公演を無事に実施することができました。ただし集客が低迷していることについては改善できておらず、工夫が必要です。</p> <p>なお、公演制作の委託先との契約により、入場料収入の90%を委託先の収入、10%を当財団の収入とし、招待券の発行も行っているため、入場者数に比べて収益は低額となっています。</p>

No. 11 エレクトーンフェスティバル		
No. 11-1 エレクトーンフェスタ-BAL 「めっちゃエレフェス」		
日 程	8月13日(金)	
会 場	中ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	116人	
No. 11-2 エレクトーンフェスタ-BAL 「Live! De La DAGANE vol.10」		
日 程	8月14日(土)	
会 場	小ホール	
入 場 料	前売2,000円、当日2,500円	
入場者数	80人	
No. 11-3 エレクトーンフェスタ-BAL 「アニソンJACK!」		
日 程	8月15日(日)	
会 場	中ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	85人	
収 支	収 益	3,160円
	費 用	887,643円
	差引額	▲ 884,483円

No. 11 エレクトーンフェスティバル	
結 果	<p>電子オルガンの魅力を異なるコンセプトによるステージで発信する事業として実施しました。名古屋音楽大学との公演「めっちゃエレフェス」は、同朋高校ミュージカルコースの生徒や名古屋文理大学情報メディアコースの学生との協力運営が実現し、未来を担う若者の創造活動を発揮する機会となりました。</p> <p>Live! De La DAGANE は、プロのエレクトーン奏者のパフォーマンスを存分に楽しむことのできる機会、アニソン JACK! は誰もがステージに立つことができる機会という、それぞれの役割を担う事業となりました。</p> <p>なお、公演の企画運営者との協定により、入場料収入のうち当財団販売分の10%について当財団の収入とし、残りを企画運営者の収入としたため、収益は低額となっています。</p>

No. 12 名古屋文理大学制作公演 「伊藤俊吾×BitterSweets コンサート」	
日 程	9月25日(土)
会 場	中ホール
入 場 料	一般2,800円、学生1,800円
収 支	収 益 5,600円
	費 用 38,931円(準備経費)
	差引額 ▲ 33,331円
結 果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しましたが、チケット払戻の申出がない人がいたため収益が発生しました。

No.13 ワンコインコンサートスペシャル音楽三昧 ～ベートーヴェン編～	
日 程	3月4日（金）～3月6日（日）
会 場	全館
入 場 料	大ホール（第九） : 1,000 円 中ホール（ピアノソナタ） : 500 円
入場者数	大ホール（第九） : 500 人 中ホール（ピアノソナタ） : 411 人（3回の合計） 中ホール（いなっピーレインボーアンサンブル発表会） : 198 人
収 支	収 益 731,550 円
	費 用 4,418,003 円
	差引額 ▲ 3,686,453 円
結 果	<p>コロナ禍で中止したベートーヴェン生誕 250 周年企画の再チャレンジとして実施しました。「音楽三昧」の象徴である全館同時開催の構成を見直し、複数日開催とすることで、新たな「音楽三昧」のスタイルを創造しました。</p> <p>合唱団の練習も含め、長期間にわたるプロジェクトを安全に開催することができた一方で、入場券の販売方法について、セット券の仕組みを試行しましたが、魅力的に展開することができず、改善の必要があります。</p>

オ 機会提供事業 3事業

No. 14 避難訓練コンサート ～もしもコンサート中に災害が起きたら～		
日 程	10月4日(月)	
会 場	中ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	36人	
収 支	収 益	0円
	費 用	83,760円
	差引額	▲ 83,760円
結 果	<p>稲沢市音楽協会所属団体の出演がうまく調整できなかつたため、愛知県警察音楽隊に出演を依頼して実施しました。</p> <p>警察音楽隊のパフォーマンスは災害訓練の主旨と合致し適切な内容でしたが、この事業のコンセプトが地域の文化団体の発表の場であることを踏まえ、音楽協会と密に調整を図ります。</p>	

No. 15 アウトリーチ事業		
No. 15-1 名古屋文理大学 「アート&コンサート」		
日 程	11月21日(日)	
出 演	ティト・モンテ (アコーディオン奏者)	
参加者数	30人	
収 支	収 益	0円
	費 用	35,296円
	差引額	▲ 35,296円
結 果	<p>荻須記念美術館が主催する荻須高德展の企画『名古屋文理大学連携講座・稲沢市文化振興財団出張演奏会「アート&コンサート」』として実施しました。荻須高德が活躍したパリを舞台にした映画音楽をテーマにしたミニコンサートを実現できるアーティストを手配しました。</p>	

No. 16 こどもの芸術鑑賞支援事業 「いなっピーからのおくりもの」	
対象公演	1月30日(日) 名曲コンサート「オーケストラが奏でる新春の贈り物」
招待者数	小中学生11人、保護者8人 合計19人
収 支	収 益 0円
	費 用 34,290円
	差引額 ▲ 34,290円
結 果	<p>コロナ禍の影響とタイミングの問題から招待公演を1公演に限定して実施した結果、申込者も少なく、寄付していただいた資源を十分に活用することができませんでした。</p> <p>現在の仕組みは、周知を限定しているため、令和4年度からは募集を公募する方法に改め、多くの家庭に届けられるよう事業を進めます。</p>

カ 娯楽事業 3事業

娯楽事業は、チケット収入等を上げることを前提に事業計画を作成していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員の50%を基本として事業を進めたため、厳しい収支となっています。なお、3事業について文化庁「文化芸術振興費補助金」の交付申請を行ったところ、交付決定を受け、600万円の補助金を受け取ることができました。

No.17 スギテツファミリーコンサート 鉄道物語 in 稲沢 vol.4	
日 程	10月17日(日)
会 場	大ホール、小ホール
入 場 料	大ホール 指定2,000円、小ホール 無料
入場者数	大ホール 371人、小ホール 413人
収 支	収 益 759,550円
	費 用 2,709,049円
	差引額 ▲1,949,499円
結 果	<p>「稲沢まつり」のイベントの一環として企画しましたが、「稲沢まつり」は中止となり、財団の主催事業として独立開催しました。今年から鉄道模型コーナーを本格的な「Nゲージ模型」から「プラレール」に変更し、よりファミリー層に親しみやすい企画としました。</p> <p>年数を重ねることで稲沢の定番イベントとしての存在感を確立しつつ、地域性をテーマにした魅力あるファミリーイベントとしての価値を更に高めます。</p>

No. 18 稲沢市民寄席	
No. 18-1 柳家さん喬・喬太郎親子会	
日 程	6月20日(日)
会 場	大ホール
入 場 料	指定 S席4,500円、A席3,500円
入場者数	455人
収 支	収 益 1,947,800円
	費 用 2,372,815円
	差引額 ▲425,015円

No. 18 稲沢市民寄席		
No. 18-2 桂まん我独演会		
日 程	10月30日(土)	
会 場	小ホール	
入 場 料	2,000 円	
入場者数	52 人	
収 支	収 益	100,800 円
	費 用	183,446 円
	差引額	▲ 82,646 円
No. 18-3 桂宮治独演会		
日 程	1月8日(土)	
会 場	小ホール	
入 場 料	2,000 円	
入場者数	125 人	
収 支	収 益	255,000 円
	費 用	190,020 円
	差引額	64,980 円
結 果	<p>親子会のアピールポイントは、一流の噺家による落語公演であることだけでなく、柳家さん喬と柳家喬太郎の師弟関係を生で感じられる特別感でした。この師弟関係を描いた書籍の情報をチラシに掲載することは実現しましたが、この仕掛けだけではインパクトが足らなかったと感じています。</p> <p>また、桂まん我独演会についても、上方落語の魅力を体現する貴重な落語家としての一面を強くアピールすることができませんでした。</p> <p>一方、桂宮治独演会は、「笑点」メンバーに選出されたことが追い風となり完売となりました。すべての公演において、集客の低迷はコロナ禍だけが理由ではないことを思い知らされることとなりました。</p>	

No. 19 よしもと新喜劇&バラエティーショー	
日 程	11月27日(土)
会 場	大ホール
入 場 料	指定 5,500 円
入場者数	①434 人、②452 人 合計 886 人
収 支	収 益 5,031,950 円
	費 用 6,427,429 円
	差引額 ▲ 1,395,479 円
結 果	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年度計画を延期し実施しました。多くの方に望まれる娯楽公演として自信をもって実施しましたが、結果が伴いませんでした。</p> <p>なお、近隣施設にて、当公演の1週間前に吉本興業による娯楽公演の開催が発表され、当館の催事に大きな影響を与えかねないこととなりましたが、委託先から契約料の減額を提案されたことから、当初計画に比べ大幅に支出を抑える結果となりました。</p>

キ 誘致事業

No. 20 舞台「デュラララ」円首方足の章	
日 程	8月12日(土)～8月15日(日)
会 場	大ホール
入 場 料	指定9,000円
入場者数	700人(14日)、450人(15日) 合計1,150人
結 果	<p>東京、愛知、大阪で計画されたミュージカル公演です。愛知公演の開催地として誘致するため、施設の優先確保のみ行い、費用負担なく実現することができました。</p> <p>市民会館文化事業では実現することが難しい規模、分野の舞台公演であり、「誘致」という仕組みのメリットを活かすことができました。</p>

ク 友の会

No. 25 友の会	
特 典	イベントニュース等の送付、チケットの先行予約、割引販売等
会 費	1,000円
会 員 数	175人
収 支	収 益 175,000円
	費 用 65,420円
	差引額 109,580円
結 果	<p>今年度から会員期間を入会日から1年間としたことで、どのタイミングで入会しても公平なサービスを提供できるようになりました。</p> <p>先行予約や割引などの会員特典を、公演情報と合わせて発信することで、販売促進を目指します。</p>

(2) 勤労福祉会館事業

セントラル愛知交響楽団との連携事業「いなっぴーレインボーアンサンブル」は、3年目を迎え第3期として実施しました。また、愛知文教女子短期大学との連携講座として、ワークショップを2講座開催しました。

No.1 いなっぴーレインボーアンサンブル	
○練習	
日 程	4月18日(日)以降 合計18回
参加者数	団員数62人
練習会場	勤労福祉会館多目的ホールほか
参加費	月額3,000円 高校生以下2,000円
○発表会	
日 程	3月5日(土)
会 場	市民会館中ホール
入 場 料	無料
入場者数	198人
収 支	収 益 126,150円
	費 用 308,783円
	差引額 ▲182,633円
結 果	第1期(40名)、第2期(31名)を超える、多くの方が参加しました。コロナ禍でしたが、感染防止対策を意識した練習等も取り入れ、無事発表会を行うことができました。 やる気のある参加者が多いので、自主的な活動を提案しつつ、会館の利用促進にもつなげたいと考えています。

No. 2 愛知文教女子短期大学連携講座	
No. 2-1 稲沢の盆踊り！みんなで輪になって踊ろう♪	
日 程	8月3日（火）～8月5日（木）
会 場	稲沢市勤労福祉会館 多目的ホール
受 講 料	300 円
参加者数	57 人
収 支	収 益 17,100 円
	費 用 85,901 円
	差引額 ▲ 68,801 円
結 果	稲沢の盆踊りを正しく継承することを目的にした講座として企画し、講師の指導力により、目的に沿った内容で実施することができました。未就学児を連れて参加される方もみえ、託児を想定していなかったため対応が難しいと感じました。参加者からは高評価をいただいております、改善をしつつ、皆様に望まれる盆踊り講座を確立します。
No. 2-2 春を彩る旭山桜のミニ盆栽ワークショップ	
日 程	2月19日（土）
会 場	稲沢市勤労福祉会館 第6研修室
受 講 料	500 円
参加者数	20 人
収 支	収 益 10,000 円
	費 用 16,400 円
	差引額 ▲ 6,400 円
結 果	申込受付開始直後に定員に達し、完売となりました。これは内容だけでなくSNSによるPRも効果的だったと感じています。個別指導時間が多くなってしまうことが課題ではありましたが、もっと盆栽講座を受講したいという声もありましたので、今後も盆栽講座を継続し、文化活動を活性化します。

(3) 受託事業

受託事業については、当初は稲沢市主催の3事業を予定し、受託を目指していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業が中止され受託に至りませんでした。

しかし、新たな事業を受託し、適切に実施することができました。

チケット販売の受託については、コロナ禍の影響により、取り扱い公演数が少ない状況が継続する結果となりました。

事業等運営の受託		
No.1 稲沢市戦没者追悼式		
日 程	8月11日(水)	
会 場	中ホール	
結 果	事業中止のため受託なし	
No.2 稲沢市敬老式		
日 程	9月20日(日)	
会 場	大ホール	
結 果	事業中止のため受託なし	
No.3 まちづくり40周年記念事業		
日 程	1月16日(日)	
会 場	中ホール	
結 果	事業中止のため受託なし	
No.4 稲沢市民生委員研修会		
日 程	2月22日(火)	
会 場	中ホール	
収 支	収 益	859,100 円
	費 用	473,020 円
	差引額	386,080 円
結 果	稲沢市民生委員研修会の運営業務を受託し、施設確保、講師手配及び舞台運営に係る業務を実施しました。	

チケット販売の受託	
受託件数	4講座、2公演
販売枚数等	講座63人分、公演チケット18枚
手数料収益	9,700円

2 施設の管理運営

令和3年度も、令和2年度に引き続き年間を通じてコロナ禍の影響を受けましたが、施設利用は回復傾向が見られ、利用件数等及び使用料徴収額について、前年度の実績をほぼ上回りました。ただし、総合体育館については、天井改修工事のため8か月間休館したため、利用実績は前年度を下回りました。

(1) 稲沢市民会館の運営

ア 施設利用実績

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
大ホール	120 件	185 件	115 件	160.9%
中ホール	150 件	160 件	101 件	158.4%
小ホール	300 件	284 件	214 件	132.7%
練習室等 11 室	1,980 件	2,148 件	1,656 件	129.7%
合 計	2,550 件	2,777 件	2,086 件	133.1%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
大ホール	27,400 人	47,652 人	25,126 人	189.7%
中ホール	14,600 人	21,521 人	9,056 人	237.6%
小ホール	16,300 人	13,017 人	7,938 人	164.0%
練習室等 11 室	25,700 人	22,165 人	19,070 人	116.2%
合 計	84,000 人	104,355 人	61,190 人	170.5%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
大ホール	296 日	177 日	59.8%	44.5%	+15.3
中ホール	299 日	147 日	49.2%	40.9%	+8.3
小ホール	316 日	239 日	75.6%	69.9%	+5.7
練習室等 11 室	3,654 日	1,734 日	47.5%	42.9%	+4.6
合 計	4,565 日	2,297 日	50.3%	44.6%	+5.7

※楽屋は除く

イ 使用料徴収実績

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
施 設	25,210,000 円	32,418,520 円	26,848,160 円	120.7%
付属設備	9,430,000 円	10,141,190 円	5,398,270 円	187.9%
合 計	34,640,000 円	42,559,710 円	32,246,430 円	132.0%

※楽屋を含む

ウ 市民サービスと利便性の向上

(ア) ホール催事の円滑な開催のため、ホール利用者との利用打合せを行いました。

(イ) 貸館公演のチケットの受託販売を行いました。

エ 施設の利用制限等

区 分	期 間	制限内容
利用時間	4月20日～ 5月11日	午後9時まで (利用者へ協力依頼)
	6月21日～ 8月20日	
	5月12日～ 6月20日	午後8時まで
	8月21日～ 9月 3日	夜間の利用中止を利用者へ要請
	9月20日～ 9月30日	
	9月 4日～ 9月19日	利用中止を利用者へ要請
10月1日～10月17日	午後8時まで (利用者へ要請)	
施設貸出	8月27日～ 9月 3日	左記期間の夜間利用分の新規受付中止
	9月20日～ 9月30日	
	9月 4日～ 9月19日	左記期間の利用分の新規受付中止
	9月 4日～ 9月30日	午後5時以降の窓口業務の中止
利用人数	年間	施設利用の内容等により、定員の1/2以下

(2) 稲沢市勤労福祉会館、稲沢市総合体育館の運営

ア 施設利用実績

(ア) 勤労福祉会館

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
多目的ホール	320 件	301 件	247 件	121.9%
研修室 6室	1,410 件	1,465 件	1,273 件	115.1%
会議室 5室	1,320 件	1,177 件	1,085 件	108.5%
日本間 2室	290 件	198 件	153 件	129.4%
合 計	3,340 件	3,141 件	2,758 件	113.9%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
多目的ホール	30,000 人	24,898 人	18,992 人	131.1%
研修室 6室	19,700 人	32,806 人	23,785 人	137.9%
会議室 5室	16,500 人	16,248 人	16,042 人	101.3%
日本間 2室	2,900 人	2,133 人	2,339 人	91.2%
合 計	69,100 人	76,085 人	61,158 人	124.4%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
多目的ホール	331日	174日	52.6%	52.2%	+0.4
研修室 6室	1,986日	973日	49.0%	42.3%	+6.7
会議室 5室	1,655日	706日	42.7%	44.8%	▲2.1
日本間 2室	662日	133日	20.1%	19.2%	+0.9
合 計	4,634日	1,986日	42.9%	40.6%	+2.3

(イ) 総合体育館

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
専用利用	670件	671件	1,790件	37.5%
トレーニング・サウナ	300件	158件	371件	42.6%
合 計	970件	829件	2,161件	38.4%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
専用利用	12,800人	18,573人	39,204人	47.4%
トレーニング・サウナ	300人	158人	371人	42.6%
合 計	13,100人	18,731人	39,575人	47.3%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
専用利用	354日	254日	71.8%	72.2%	▲0.4
トレーニング・サウナ	59日	51日	86.4%	69.6%	+16.8
合 計	413日	305日	73.8%	71.8%	+2.0

※専用利用は、アリーナ、武道室兼卓球室及びボクシング室

イ 使用料徴収実績

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
勤労福祉会館	4,740,000円	4,625,150円	4,324,770円	106.9%
総合体育館	5,410,000円	3,754,800円	8,612,810円	43.6%
合 計	10,150,000円	8,379,950円	12,937,580円	64.8%

ウ 施設の利用制限等

(ア) 稲沢市勤労福祉会館

区 分	期 間	制限内容
休 館	8月21日～ 9月 3日	夜間休館
	9月20日～ 9月30日	
	9月 4日～ 9月19日	終日休館
利用時間	5月12日～ 6月20日	午後8時まで
	10月1日～10月17日	
施設貸出	9月 4日～ 9月30日	左記期間の利用分の多目的ホール 新規受付中止
利用人数	年間	施設利用の内容等により、定員の 1/2以下

(イ) 稲沢市総合体育館

区 分	期 間	制限内容
休 館	8月 1日～ 3月31日	改修工事のため終日全館休館
利用時間	5月12日～ 6月20日	午後8時まで
施設貸出	5月12日～ 7月11日	左記期間の利用分の市外新規受付 中止 トレーニングサウナ使用中

(3) 各施設共通

ア 施設の維持管理、防災

舞台管理業務や設備管理業務、清掃業務等を、業務委託により実施しました。

また、消防訓練を年2回実施しました。

イ 市民サービスと利便性の向上

利用者の意見や要望等を把握するため、サービス評価アンケートを実施し、利用者サービスの向上に努めました。